

統計調査等業務の業務・システム最適化計画の概要

電子政府の取組の一環として、全府省で行われている統計調査等業務について、ITを積極的に活用しつつ、府省横断的に業務・システムを見直し、経費・業務の簡素・合理化、利便性の向上を図る。

各府省の情報システムの集約（各府省共同利用型システムの整備）

各府省で区々に開発・運用していた統計関係の情報システムを集約し、各府省共同利用型のシステムを整備（開発：平成18年度・平成19年度、本格運用開始：平成20年度）。

母集団情報の管理及び標本抽出の共通化

事業所・企業を対象とする各種統計調査の母集団情報の管理及び標本抽出の共通処理基盤を整備。

統計調査のオンライン化の推進

現行の統計調査方式と併用又は代替が可能なオンライン調査を順次導入。

統計利用に係るワンストップサービスの実現

各府省のホームページの構成、用語等の共通化を図り、統計情報が一元的に利用可能なワンストップサービスを実現。

業務の簡素化・合理化

業務処理の共通化、一元化・集中化、取り扱う情報の標準化、外部資源の活用（市場化テスト・民間開放の取組を踏まえて今後更に見直し）等を推進。